

【投稿】防衛相を即刻入れ替えよ

会員・福井県立大学教授 島田洋一

「安全保障に関しては素人だが、これが本当のシビリアン・コントロール」だという一川保夫防衛相の発言は、閣僚辞任どころか議員辞職に値する。装備や作戦についてはともかく、「安全保障」に素人である人間に国会議員の資格などない。田久保忠衛教授が呆れる通り、あまりに国際常識に外れた人事だ。

同盟国の米国では、他のポストはどうあれ、国防長官には超党派の支持を得られる人物を就けるべく腐心する。そのこと自体が「国防については一枚岩」との対外メッセージとなり、抑止力につながるからだ。パネッタ現長官は全会一致で上院の審査を通った。軍関係には共和党支持者が多い。それゆえ、民主党政権下でも往々にして共和黨員を国防長官に指名する。ゲーツ前長官や、クリントン政権時代のコーエン長官がそうだった。

少なくとも防衛相には、自民党議員の大半も納得するような人物を当てねばならない。民主党政権誕生以来、北澤俊美氏、一川氏と世界に出せない「安全保障の素人」が一貫してこの重要ポストを占めてきた。これは抑止力を損なう異常な行為であり、野田佳彦首相は直ちに防衛相を取り替えるべきだ。